

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
小ぎく	・今期は平年並みの作付で生育も順調に推移している。配色割合は黄:白:赤=40:33:27となっている。	現状 上旬に入荷の少ない色に関しては引き合い出るも、入荷は昨年対比120%となっており、需要と供給のバランスがとれず厳しい販売となった。
		見通し 大田花き 2月に関しては、大きなイベントなく厳しい販売となることが予想されるが、中下旬からは3月彼岸に向けた動きが出てくる見込み。また、主要産地である沖縄産の入荷に関しては、昨年より2割程度減少する見込み。 FAJ 引き続き、沖縄中心の入荷。安定した入荷が見込まれる。 東日本板橋花き 特に需要もなく、販売苦戦が見込まれる。2月後半から徐々に増え始める見込み。
		世田谷花き 少しずつ入荷は増える見込みだが、需要も少なめなのは変わらず。厳しめの動きが。 第一花き 入荷のバランスによるが、高値はないが概ね例年並みの流れ。 @30
トルコぎきょう	・高冷地の玖珠では低温による温度不足が心配され、出荷は少ない見込み。他地域でも2月は遅れが見られるものの、一方で春作は順調な生育となっており、早ければ2月下旬より春作品種の出荷となる予定。	現状 国産に関しては年末出し切った所もあり、入荷は少ない状況が続いた。輸入に関しても空輸の絡みありや昨年より少ない入荷状況となる。相場は少ない分やや高めで推移している。
	・目立った病害虫の発生もなく、全体的に生育順調。2L、L中心の出荷になる見込み。 ・今年度新規でトルコぎきょうを作付しているJA串間市大東より2月以降出荷が始まる見込み。	見通し 大田花き 国産に関してはどこも厳寒期のため、極端な増加はなく昨年並みの入荷となる。需要も小さくパレンタイン、節句と絡むところでの集荷強化。輸入に関しても空輸から船便なれば数量も安定した入荷となる見込み。 FAJ 国産の入荷は少ない見込み。台湾など輸入の目立つ入荷となる見込み。相場は安定相場。 東日本板橋花き 冷え込みにより国産は少ない予想。台湾産中心の入荷。
		世田谷花き 高知、静岡などから入荷増える。 第一花き 特に需要も多くない時期で、入荷バランスによるところが大きい。業務・プライダル需要中心の流れで、品質格差の単価差は出る。 @140
バラ	・生育順調。	現状 重油の高騰、円安の影響で市場流通量が非常に少ない状況。ただし、一般消費も少なく高単価も出にくい状況。国産は昨年比約97%だが輸入の減少が激しい。
	・時期がら少ない月ではあるが、低温が特に厳しく出荷は少ない。	見通し 大田花き 1月と変わらずの状況が続く。フラワーパレンタインの需要で赤バラ、濃いピンクの引き合いが強まるが、終われば需要は終息。重油高が収まらない限り、国内産地はハウス内の温度は炊けない。 FAJ 引き続き、国産の入荷量少ない状況。比較的安定した販売続く。週末はプライダル需要で動きあり。 東日本板橋花き フLOWERパレンタイン以外は特に動きは少ない。
		世田谷花き 中旬以降、入荷量増える見込み。パレンタインデー頃から相場上向きの見込み。 第一花き 業務・プライダル需要主体の流れ、特に大きな需要もなく、品種・品質格差の単価差は出る。 SD@100 SP@110
アルストロメリア	・生育は、最低温度10～13℃程度で加温管理が行われていることから、概ね順調に推移している。 ・2月の出荷量は、一部で燃油高騰の影響で加温設定温度を例年より下げた施設があることと、作付面積が前年よりやや減少していることから前年の94%程度と見込まれる。 ・燃油高騰に対応するために、従前の石油暖房機からの暖房から、ヒートポンプと石油暖房機を利用したハイブリッド暖房方式の施設がやや増加してきていることから、灰色かび病の発生は少なくなり、切花品質は良好である。	現状 主産地の愛知、長野を含め各産地、低日照、低温の影響から生育が鈍り数量が減少。下位等級が少なく、上位の高値ではないものの中値で推移する相場展開となった。
		見通し 大田花き 日照量が増えるにつれ、愛知、長野中心に数量は増加する見込み。上位等級が中心になるものの各等級増加してくる。各色増加するため、色バランスも良くなる。 530,000本 @65 FAJ 引き続き長野、山形より入荷。安定した相場での取引が見込まれる。 東日本板橋花き 愛知、青森、福島中心の入荷、業務中心の動き。
		世田谷花き 入荷横ばい。業務中心の動き。 第一花き 業務需要主体の流れ、需要、入荷も多くない時期で厳しい販売。 @80
ストック	・12月下旬からの低温の影響で1週間程度生育が遅れている。2月の出荷量は少なかつた昨年より多く、平年並みとなる見込み。	現状 メイン産地の千葉産は寒さに影響されながら増減のある出荷となった。山形産に関しては年内に数量がでたため、減少となった。需要面では、スタンダード系は葬儀需要、SP系は季節商材としてやや動きがでていた。
	・開花は平年並みで、品質は良好である。	見通し 大田花き 天候次第で数量が変動する状況だが、概ね安定出荷となる見込み。需要面では大きな需要はないが、季節商材として堅調な取引がされる見込み。 FAJ 引き続き千葉産中心の入荷。SP堅調。SDもアイアン系は安定した値動きの見込み。 世田谷花き 天候次第だが、主に千葉などから入荷増える模様。 第一花き 業務需要中心の流れ、産地・品種による単価差は出ているが、概ね例年並みの流れ。 @65